

3月議会

一般質問で市民の願い取り上げ実現せまる

3月定例議会は3日に議案質疑が行われ、日本共産党は山岡光広・岡田重美・西山実の各議員が質疑を行いました。また4日から8日にかけて一般質問が行われ、16名の議員が質問しました。今号では、西山実議員、山岡光広議員の一般質問の内容を報告します。

西山実議員



■空き家対策について

西山議員は、草木の繁茂など、管理不全の空き家等が地域に及ぼす影響を指摘し、対策の充実を求めました。建設部長は、空き家バンクの積極的活用、所有者への空き家発生活予防相談会、管理不全空き家を売却するための補助金の拡充を検討する」と回答しました。

■加齢性難聴に伴う補聴器の補助制度を

加齢性難聴が、コミュニケーションを困難にする原因になっていること、うつ病や認知症のリスクにつながることから、国の補助制度が整うまで市独自の補聴器購入補助が

必要と、先進的な自治体の取り組みを紹介しながら、補助を求めました。これに健康福祉部長は、補聴器の普及は必要との見解を示しながら、国の制度を要求していく」と従来通りの回答にとどまりました。西山議員は再質問で、言語聴覚士を活用した、難聴の方へサポート体制の充実を求めました。

■旧307号線の東内貴バス停から、貴生川交差点の歩道の整備と側溝の安全対策を

西山議員は、危険な現場の写真を示しながら改善を求めたことに建設部長が、水路の側溝は、安全対策が必要であり、暗渠にする等の対策を検討する」と前向きな回答を示しました。

■コミバスの改善を

西山議員は、コミバス利用者から寄せられた要望をもとに、松尾団地のバス路線の拡充、バス停の増設、さらに水口地域から甲南病院行の直通便を求めました。建設部長は、地域からの要望は、区、自治会等と相談し、運用事業者と協議の上、利便性を追求して(今後)路線網を見直していく」と回答。引き続き、地域と連携して改善が図れるよう要望していきます。

山岡光広議員



■学童保育支援員 保育士の処遇改善について

山岡議員が学童保育支援員や保育士の処遇改善を求めたことに對して、こども政策部長は、学童保育の専任支援員は、月額9千円の加算、時間給も補助員もパートも対象。「ワイドライン」にもその点を明記する」と約束。保育士についても、公立の正規 会計年度任用職員も臨時手当を、民間園は3%賃金改定に必要な費用を補助する」と回答がありました。

■小規模保育所について

山岡議員は、現在三園、四月からはさらに三園開所する小規模保育所(三歳未満児対象)の視察をふまえて、子どもの発達、発育にとって砂場や水遊びが体験できる場は大切」と園庭の役割を強調。改善を求めました。また待機児童について

は、令和三年度は、三歳未満児が16人いたが、令和四年度は待機児童解消の見込み」との報告がありました。

■自治振興会と区自治会の今後のあり方について

山岡議員は、市が自治振興会と区自治会の今後のあり方について基本方向を示したことについて、さまざま角度から問題点を指摘しました。

特に、自治振興会を「行政区」として位置づけ、地域からの要望は今後自治振興会を通じて聞き、公共サービスも自治振興会のエリアを対象とする、と強調している点について、行政区設置規則に位置づけられている区を自治振興会に置き換えるということか」と指摘。区自治会は変更ないというのがこれでは大きな違い」ともつと充分な議論と合意形成を図るべき」と問題点を指摘しました。

■甲南希望ヶ丘所有者不明土地(道路)について

開発業者の倒産でそのままになっている私道と隣接する民家の問題を取り上げ、改善を求めたことに建設部長は、市道側側溝の雨水処理ができるよう検討する」と約束しました。



ロシアのウクライナ侵略に抗議 もう黙ってはられない怒りの集い

ロシアによるウクライナへの侵略行為に抗議と非難の声が広がるなか、5日開かれた「もう黙ってはられない怒りの集い」でも、参加者が口々に抗議と「即時撤退」を訴えました。「集い」は、毎月第一土曜日の午前10時から甲賀市役所前で開かれているもので、日本共産党の西山実議員も参加して、市議会が全会一致で非難決議を可決したこと。またこのウクライナ危機に乗じて、安倍元首相が「核共有」を言い出したり、憲法9条改悪など危険な動きが強まっている点を指摘、「憲法9条を守り生かすことこそ大切」と訴えました。

日本共産党
甲賀市議員団ニュース
 2022年 3月 13日 第394号



山岡 光広
 甲南町森尻 16
 TEL 86-2985
 Fax 86-0415



岡田 重美
 土山町南土山甲 78-15
 TEL 66-0696
 Fax 66-0696



西山 実
 水口町本丸 3-28
 TEL 62-3044
 Fax 62-3044